

安全性への配慮(太陽光パネル設置に対する積載荷重及び風荷重等の確認)

様式8

No.	施設名	パネル等設置面積 A1 (㎡) 注1)	実荷重面積 A2 (㎡) 注2)	パネル・架台等重量 W (kg) 注3)	実荷重 (N/㎡)	設置個所の設計積載荷重 (※募集要項別紙1参照) (N/㎡)				積載荷重 判定 注4)	所在地の 基準風速 注5) V0(m/s)	設置高さ H(m)	粗度区分 I～IV	速度圧 q(N/㎡)	設置部の 風力係数 (吹上げ) Cf	風圧力 D q×Cf (N/㎡)	風圧力による鉛直 力(上向きを正とする) P (N/㎡)	風圧力による水平 力 Q (N/㎡)	アンカー ボルトの サイズ m	アンカー ボルトの 有効断面 積 Ae (mm ²)	必要 アンカーボ ルト 注6)	設置 アンカーボ ルト本数 注7)	設置 アンカーボ ルト 判定 注7)																															
						床	小梁	大梁	地震																																													
①	大阪府動物愛護管理センター																																																					
	【勾配屋根部分】																																																					
	(パネル・架台)																																																					
	(その他)																																																					
	合計																																																					
	【陸屋根部分】																																																					
	(パネル・架台)																																																					
	(基礎)																																																					
	(その他)																																																					
	合計																																																					

注8) 取付金物の必要個数とその根拠資料及び設置個数を別紙にて示すこと。

※ 勾配屋根部分と陸屋根部分を分けて記載すること。

- 注1) パネルや架台の設置に要する面積を示す。
- 注2) パネルや架台の重量を支持する面積を示し、パネルの設置間隔やパネル間のメンテナンス通路等の面積を含む。
- 注3) パネル・架台の他、基礎や防水層改修等により重量が増す場合は、その重量も見込むこと。
- 注4) 実荷重(W/A2)が地震用積載荷重より小さければ「OK」と入力。(NGの場合で梁・柱の上に設置する等の提案をする場合は、考え方・根拠資料を別紙にて添付すること。)
- 注5) 建築基準法施行令で規定する風速(m/s)を示す。
- 注6) アンカーボルトは既設RC基礎にアンカーする。
必要アンカーボルト(本数/㎡) = P/(Ae・235) + Q/(Ae・235/√3) Ae: アンカーボルトの有効断面積
- 注7) 設置アンカーボルト本数/パネル等設置面積(A1)が必要アンカーボルト本数より大きければ「OK」と入力。(NGの場合は失格)
- 注8) 勾配屋根への設置は取付金具により設置するため、アンカーボルトは必要なし。取付金物の必要個数とその根拠資料及び設置個数を別紙にて示すこと。
- 注9) 上記表の内、荷重の単位(N/㎡)は(kg/㎡)に置き換えてもよい。その場合、1kg=9.8Nとして換算すること。
- 注10) 各項目の数値の計算根拠を別紙により添付すること。